



株主通信

第 73 期

KUZE BUSINESS REPORT 2019年4月1日から2020年3月31日まで

TOP MESSAGE

お客様とともに環境の変化を乗り越え、
安定的な収益基盤を築いてまいります。

詳細な情報はホームページをご覧ください

 <https://www.kuze.co.jp>

頼れる食のパートナー

 株式会社 久世

証券コード：2708

お客様とともに環境の変化を乗り越え、
安定的な収益基盤を築いてまいります。

代表取締役社長

久世 真也

profile

1972年9月27日生。2002年10月当社入社。
営業本部東京支店副支店長、キスコフーズ代表取締役
社長を歴任し、常務取締役、取締役副社長を経て現職。



第4四半期の感染症拡大を受け、業績が失速

2020年3月期を振り返ると、第3四半期までの外食・中食市場は、インバウンド需要の盛り上がりも含めて堅調に推移し、当社グループにおいても近年進めてきた物流業務の効率化や提案営業の強化が成果を上げ、業績を改善させつつありました。しかしながら第4四半期に入って2月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大という事業環境の激変を受け、一転して厳しい営業状況に見舞われました。

結果として当期の業績は、第4四半期における失速が響いたことで、売上高および利益が計画を下回り、減収・減益となりました。

なお、感染症の蔓延が先行した中国では、厳格な封鎖対応が行われたことから、久華世(成都)商贸有限公司および上海日生食品物流有限公司を中心とする中国事業は、2月から業務の停止が続きました。現在はすでに封鎖が解かれ、業務を再開しています。ただし中国の企業では12月決算が義務づけられているため業務停止によるマイナス影響は、2021年3月期の連結業績に反映されることとなります。

感染症の影響を除く状況について述べますと、物流費・人件費の昇が大きなコストアップ要因となった1年でした。物流効率につきましては、地域に根差すお客様に対しては自社物流、チェーン店運営を行うお客様に対しては外部委託物流という物流シフトによる効率改善を進めるとともに、提案営業を通じてお客様にもメリットのあるブランドスイッチを促し、売上総利益の確保に努めました。また2019年4月には、商品力や調達力の強化に向けて、業務用食材卸の協業体である日本外食流通サービス協会

(JFSA)に加盟しました。他の加盟企業と横のつながりを深め、経費削減策や労務対策など経営ノウハウの共有にもつながっていく考えです。

感染症対応を進める中で新たな機会を獲得

新型コロナウイルス感染症の拡大は、産業界全体に深刻な影響を及ぼし、すべての人々に生活の困難を強いる状況が続いています。感染症の終息と経済の復興に向けた見通しは、今もなお不透明であり、さまざまなリスクを想定しつつ、当面の景気後退を前提とした対応が求められます。

そうした中、当社グループ事業を取り巻く外食・中食市場では、感染症対応による社会的制約を踏まえ、その影響を乗り越えながら企業体質の強化を図る動きが飲食事業者の間で広がっていくと見ています。具体的に足もとでは、食品の物流に関わる配送時間の指定など、今まで非効率・低生産性を招いていた条件が見直されつつあり、同時にテイクアウトやフードデリバリー、インターネット販売など「店外売上」の拡大に向けたシフトが急速に進んでいます。

当社グループは、フードサービスを支える“頼れる食のパートナー”として、お客様である飲食事業者の新たな取り組みに対応したメニュー提案や商品開発に注力し、ニーズに応えます。また、フードサービスにかかわる非効率・低生産性の改善に向けた意識をお客様と共有し、ともに問題解決を図る中で、物流条件の最適化を働きかけていきます。

現在、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の

中期経営計画(第4次3ヶ年中期経営計画)

私達のあるべき姿 システムで運ぶ つくる 考える “頼れる食のパートナー”

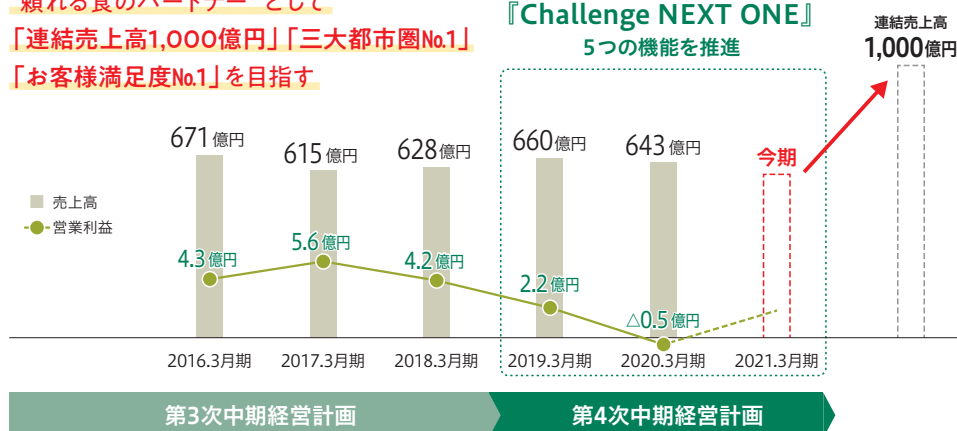
“頼れる食のパートナー”として

「連結売上高1,000億円」「三大都市圏No.1」

「お客様満足度No.1」を目指す

『Challenge NEXT ONE』

5つの機能を推進



5つの機能

物流

高効率でフレキシブルな
物流網の構築

情報システム

安定性と戦略性を備えた
情報システムの構築

マーケティング

市場分析の推進
PB商品の開発とプロモーション

海外

輸出入事業と
中国・NZ現地事業の推進

グループシナジー

製造事業や生鮮事業
他社との連携

拡大を防止すべく、社内衛生の強化はもちろん、国内外への出張自粛、時差出勤やテレワークの実施に努めながら業務を継続し、食材の供給責任を全うしています。足もとの営業状況は、政府の緊急事態宣言発令を受けて4月・5月の売上が大幅に下振れしており、宣言解除後の売上の戻り状況と、そこで緊縮を解いていく販管費のコントロールが業績面のカギになると認識しています。その一方で、近年における物流費・人件費上昇の要因となってきた人手不足の状況は、今回の経済停滞と雇用悪化を機に改善に向かう可能性があると考えています。

よりスピーディーな実行が求められる事業戦略

2021年3月期は、安定的な収益基盤の構築を目指す3ヶ年中期経営計画「Challenge NEXT ONE」の最終年度となります。これまでの2年間で、当社グループは「物流」「情報システム」「マーケティング」など5つの機能のレベルアップを図り、成果を上げてきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、本計画の推進においても大きな足かせとなっていますが、安定的な収益基盤の構築という旗印を下すことなく、引き続き目の前の成長テーマにしっかりと取り組んでいきます。特に「物流」「情報システム」「マーケティング」の3つについては、感染症対応を進める中でよりスピーディーな機能発揮が求められます。

物流機能では、先に述べました物流条件の最適化をお客様に働きかけつつ、物流シフトによる体制整備を進めることで効率改善を果たし、収益体質の構築につなげていきます。情報システム機能では、これまで取り組んできた基幹

システムの入替えやお客様向けのスマートフォンアプリ開発に加え、インターネット販売などのEC対応や物流戦略を補完するシステム構築を手掛けていきます。マーケティング機能としては、アプリなどによるお客様への情報発信力を高めながら、お客様の興味の対象を探るという双方向性の確保に注力していく方針です。

「Challenge NEXT ONE」の業績目標に掲げた「売上高770億円」「営業利益10億円」については、残念ながら未達となる見通しです。2021年3月期は、今のところ先の見通しが困難であり、営業にかかわる不確定要素が多いため、現時点での業績予想数値の発表を控えさせていただきます。

身近な幸福を支える企業として社会に貢献

今回の期末配当は、当初1株当たり12円を計画していましたが、当期業績の利益水準に鑑み、また今後の事業環境の変化に対応していくために必要となる内部留保を勘案し、遺憾ながら同6円に減配させていただきました。なにとぞご了承のほどお願い申し上げます。

これまで、当社グループ事業のお客様である飲食事業者は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐべく、政府の自粛要請に協力する形で営業を見合わせてきました。そして緊急事態宣言が解除された今もその余波は続いています。人類がこの感染症を克服し終息させた暁には、食は「身近な幸福」として、すべての人々が再び飲食の楽しさを味わい、分かち合える時が戻ってくることは間違いありません。私たちは、その身近な幸福を支える企業グループとして、社会に貢献し続けてまいります。

業務用食材卸の久世は「頼れる食のパートナー」を目指しています。

「運ぶ」「つくる」「考える」という3つの観点から「繁盛店づくり」のための様々なサポートを行い、課題を解決する「フードサービス・ソリューション・カンパニー」です。



久世の役割

久世は消費者の皆様「多様で豊かな食」をお届けしています

あらゆる食材・資材をワンストップで提供できるフルラインサプライヤーとしてお客様のニーズにお応えし、いつでもどこへでも高品質をお届けしています。

価格と品質にこだわったオリジナル商品の開発を行っており、定番アイテムはもちろん、他店との差別化を図る独自性の高い商品も取り揃えています。

また、長年の経験をいかし、メニュー開発やオペレーションに至るまでのトータルサポートや最新トレンドなどの情報発信を行い、久世の持つノウハウを提供しています。

2013年にはISO22000を取得し、商品の品質だけでなくすべての工程の品質を向上させ、お客様にご満足いただけるようサポートしています。久世は、グループの総合力でお客様の「繁盛店づくり」のお手伝いをしています。



CLOSE UP ~キーワードで知る 久世の“今”~

アプリを利用した情報発信

業務用食材卸“初”

お客様向けアプリの導入を開始しました。アプリを利用してトレンドやお客様のお悩み解決方法などの情報をいち早くお届けしています。

✓ **久世通信がいつでも読める**
最新号はもちろん、バックナンバーも閲覧できます。

✓ **久世オリジナル提案レシピの検索ができる**

600を超える久世オリジナルレシピの閲覧が可能。トレンドを取り入れたレシピを随時更新しています。

✓ **商品の注文が可能**

久世の発注サイト「くぜらく」に登録しているお客様はアプリで見つけた商品をそのまま注文できます。



例えば… テイクアウト ニーズへの情報！

新型コロナウイルス感染症の拡大により、外食産業は苦境にある中でテイクアウト需要は高まっています。当社は、アプリを通じてお客様が今欲しいテイクアウト資材などの情報発信をし、お客様の課題解決のお手伝いをしています。

久世が取り組む



持続的な成長を目指した環境への対応

当社は「頼れる食のパートナー」として、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様、社員とその家族、地域社会の皆様から必要とされる存在でありたいと考えています。パートナーの皆様から信頼され、必要とされる会社を目指し、社会的課題に挑戦していくことで、新たな市場や価値を創造し、地球環境への貢献や社会の持続的発展、久世グループの成長に繋げていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (持続可能な開発目標)とは

2015年9月の国連サミットで採択されたアジェンダで掲げられた国際目標。2030年までに持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されている。

／ 取り組みの一例をご紹介します。 ／

自社企画輸入商品の開発

担当バイヤーが直接現地に行き、仕入ルートや労働環境を含めて視察しながら輸入商品の開発をしています。



ペルー産 冷凍マンゴーチャンク

南米の北部に位置するペルーは、マンゴーの生産に適した温暖な国。アンデス山岳の麓に広がる管理の行き届いた農園で濃厚な甘さと程よい酸味のバランスがとれたマンゴーを生産しています。収穫後に追熟を行い、久世が指定した糖度に適したアップルマンゴーのみを使用しています。



久世
オリジナル
商品!



Dolceze デザートブランド「Dolceze」

2008年「久世」とデザートの意味する「ドルチェ」を掛け合わせたデザートブランド「Dolceze(ドルチェーゼ)」が誕生しました。発売以来、当社の品質管理基準をもとに安心安全な商品づくりはもちろん、素材や設計にこだわった他社にはないクオリティー、お客様のオペレーションを考えたオリジナリティある豊富なラインナップが好評です。

久世
オリジナル
商品!



PB商品の少量パッケージ化

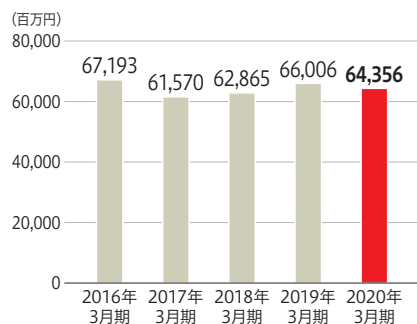
自社で開発しているPB商品は1kgなどの大容量だけでなく、500gなどの少量規格商品のラインナップを増やしています。デザートブランド「Dolceze」からは、短時間で解凍できる冷凍デザート商品など、必要な時に必要な分だけ使用できる商品を取り揃え、外食産業のロス削減に貢献しています。



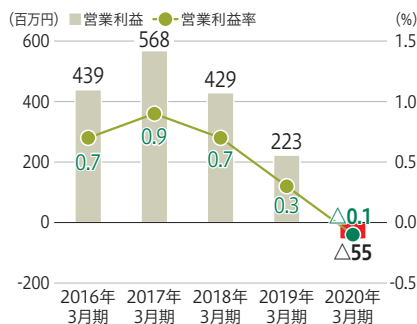
●● 連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

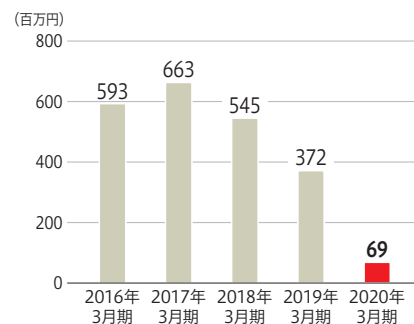
売上高



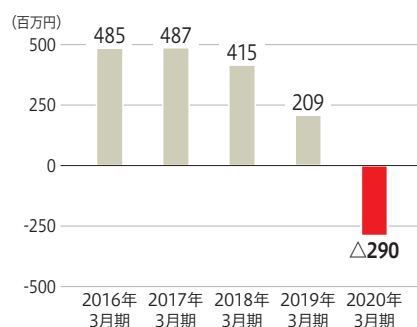
営業利益／営業利益率



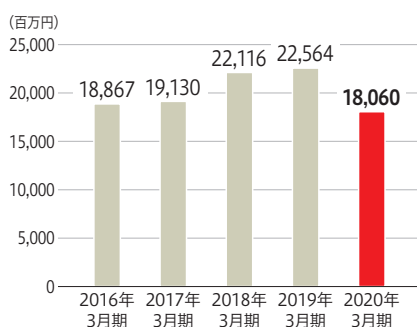
経常利益



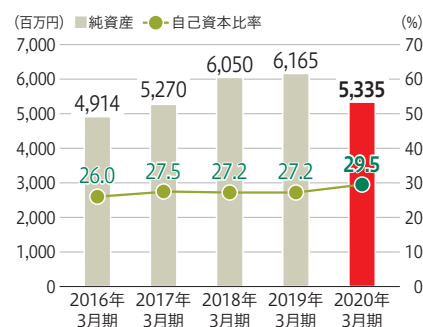
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

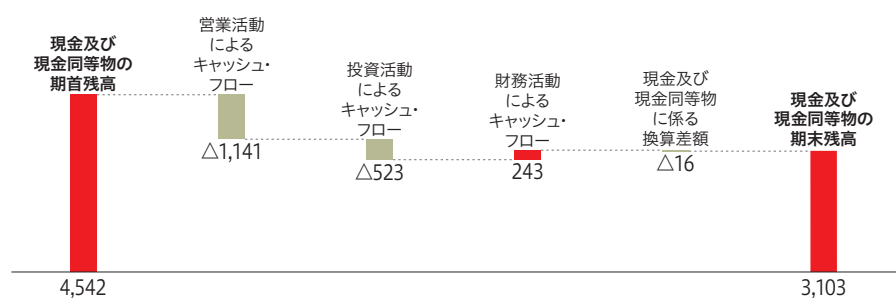


純資産／自己資本比率



連結キャッシュ・フローの概要 (百万円)

2019年4月1日～2020年3月31日



POINT

財政状態

- 総資産は現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどから45億4百万円減少しました。
- 支払手形及び買掛金、未払金が減少したことなどにより、負債は36億74百万円減少しました。
- 利益剰余金、有価証券評価差額金が減少したことなどにより純資産は8億30百万円減少しました。

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローが△11億41百万円となったことおよび投資活動によるキャッシュ・フローが△5億23百万円となったこと等により、現金及び現金同等物の期末残高は14億38百万円減少しております。

会社概要

社名 株式会社 久世
所在地 東京都豊島区
東池袋二丁目29番7号
電話番号 03-3987-0018(代表)
代表者 代表取締役社長 久世真也
創業 1934年(昭和9年)4月
会社設立 1950年(昭和25年)1月
資本金 3億225万円
(2020年3月31日現在)

役員

(2020年6月24日現在)

代表取締役会長 久世 健吉
代表取締役社長 久世 真也
常務取締役 加藤 広忠
取締役 市川 明夫
社外取締役 平川 功
監査役 後藤 明彦
社外監査役 大鹿 博文
社外監査役 和井田 堯彦

株式の状況

(2020年3月31日現在)

大株主の状況

(2020年3月31日現在)

(注) 持株比率は、自己株式
(181,118株)を控除
して計算しております。

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式総数 3,882,500株
株主数 3,585名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久世健吉	661,625	17.87
久世真也	270,050	7.29
久世純子	214,100	5.78
久世社員持株会	164,025	4.43
日本生命保険相互会社	140,000	3.78
株式会社トーヨー	135,000	3.64
久世将寛	126,800	3.42
久世晃介	126,600	3.42
株式会社みずほ銀行	125,000	3.37
株式会社極楽湯ホールディングス	125,000	3.37

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3カ月以内に開催
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番地4号
(同連絡先) TEL 0120-288-324(通話料無料)
公告方法 電子公告により、当社WEBサイトに公告いたします。
但し、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に公告します。

- ご注意**
1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。
 2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<https://www.kuze.co.jp>

久世

検索



当社ホームページでは、最新のおすすめ情報のほか、事業内容やIR情報を発信しております。是非ご覧ください。

IR情報



株主優待情報

株主様向け \ 耳より / インフォメーション

当社は、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに当社事業へのご理解とご支援をいただき、
より多くの皆様に当社株式を長期に保有していただける
魅力あるものとするを目的として株主優待制度を設けております。

対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された
1単元(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

優待の内容

株式保有数に応じて当社プライベート商品「特選無洗米」(山形県天童産)

進呈時期
毎年10月
中旬以降

100株以上 1,000株未満

久世 特選無洗米 2.5Kg



1,000株以上 3,000株未満

久世 特選無洗米 5Kg
(2.5kg×2)



3,000株以上

久世 特選無洗米 10Kg
(2.5kg×4)



おいしい天童米をお届けします

天童市は、県のちょうど中ほどに位置し、周囲を山々に囲まれ、市の西部には最上川が流れる山形盆地にあります。土壌は肥沃で、気候は清涼。そんな自然風土の中、天童市では昔から農業が盛んに行われてきました。盆地型気候は特に稲作で最も大切な7月～9月に寒暖の差が大きくなり、それがお米に大なるおいしさと栄養をもたらします。気象・地理条件を満たした最適地で、安全で安心なおいしいお米を届けたいという熱い情熱を持った天童の米農家の想いが、おいしいお米を生み出しています。



TOPICS

天童市の農協と契約栽培をしています。
久世社員も生産者と一緒に育てています。

天童市農業協同組合と契約栽培を開始し、久世の社員も研修として、生産農家の方々と一緒に田植えから稲刈りまでをお手伝いしています。美味しいお米をお届けできるようにと育てた山形県天童産の久世オリジナル米をどうぞお楽しみください。

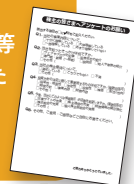
ご協力
ありがとうございました!

回答株主数 580名
回答率 17.1%

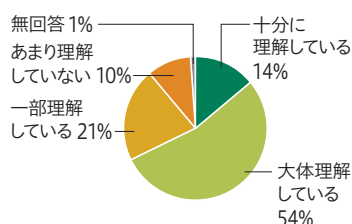
株主様アンケート結果のご報告

前回の株主通信に同封いたしました株主様アンケートの結果について、
いただいたご意見の一部をご報告いたします。皆様からいただきました
貴重なご意見等を、今後にかかしてまいります。

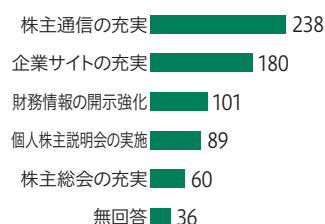
今回も株主様アンケートを実施いたします。
同封のハガキにご意見等
ご記入のうえご返送いただけますよう、よろしく
お願い申し上げます。



Q 当社の事業内容について



Q 当社にどのような情報提供・開示を希望するか(複数回答)



株主様からいただいたご意見を一部ご紹介いたします

Q. 新たに加盟した日本外食流通サービス協会(JFSA)について教えてください。

A. JFSA(ジェフサ)は、業務用食材卸企業の協業体です。JFSAに加盟することで商品力や調達力を強化させる他、加盟企業と経費削減策や労務対策などの経営ノウハウも共有しております。